

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	新見公立大学
設置者名	公立大学法人 新見公立大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
健康科学部	健康保育学科	夜・通信	15		55	70	13	
	看護学科	夜・通信			148	163	13	
	地域福祉学科	夜・通信			86	101	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/6,7545,21,html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新見公立大学
設置者名	公立大学法人 新見公立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/6,7545,21,html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	医師	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日	理事長
常勤	公務員	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日	財務・安全担当
非常勤	団体役員	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日	大学改革担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新見公立大学
設置者名	公立大学法人 新見公立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項については、シラバスに記載し、学生及び社会に対してホームページ上で提示している。</p> <p>なお、シラバスは、年度更新しており、2月に次年度分を作成し、年度当初に公表している。</p> <p>シラバス「新見公立大学シラバス」</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/1,2819,html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>大学学則第24条及び大学履修規程第3条において、授業科目を履修し、その試験等に合格した者に所定の単位を与えると規定している。単位の計算法は、大学学則第22条に基づき、各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業方法に応じて当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して基準を定めている。</p> <p>大学履修規程第7条に受験資格等として、出席時数が授業時数の3分の2に満たない者は、単位の認定を受けることができないと規定している。また、実習等を欠席した場合は補講等を受けることも学生便覧の学修の手引きに明記している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学業成績の基準としてGPA制度を導入している。学期ごとに、各授業科目の成績評定の結果に対して、「秀：4点、優：3点、良：2点、可：1点、不可：0点」の点数を与え、学期GPA及び累積GPAを算出している。また、GPAを利用した学修指導として、成績優秀者の表彰、奨励及び基準値を下回る学生に対する履修指導を行っている。これらに基づき、適切に成績の評価を行っている。</p> <p>なお、成績評価に異議のある場合は、異議申し立てを行うことができる。</p> <p>規程「新見公立大学の学生成績評価にGPA制度を併用するための規程」</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/17,8707,c.html/8707/GPAheiyoukit ei.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>大学の理念と設置目的、学部及び研究科の人材養成、教育研究上の目的に基づいて、大学学則第30条第2項による学部において学位を授与するために修得すべき内容を、学位授与方針として策定し、明示している。</p> <p>また、卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業判定会議において、卒業を認定している。</p> <p>指針「新見公立大学の理念・目的・目標・ポリシー」</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/6,0,21,html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	新見公立大学
設置者名	公立大学法人 新見公立大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/17,1460,36,html
収支計算書又は損益計算書	https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/17,1460,36,html
財産目録	—
事業報告書	https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/17,1460,36,html
監事による監査報告(書)	https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/17,1460,36,html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:公立大学法人新見公立大学年度計画 対象年度:2023年度)
公表方法: https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/17,1460,36,html
中長期計画(名称:公立大学法人新見公立大学中期目標 対象年度:令和2年度~令和7年度)
公表方法: https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/17,1460,36,html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/17,0,85,190,html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 健康科学部
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/6,5787,21,html) (概要) 本学は、人と地域を創る大学として、看護・保育・福祉の領域における教育と研究を実践し、高度の知識と技能、および豊かな教養と人間性、高い倫理観を有する専門職を育成する。また、看護・保育・福祉各領域の連携と協働により、人に優しい地域共生社会の実現に貢献するとともに、課題解決のプロセスをとおして、グローバルな視点で健康科学の深化を図ることを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/6,0,21,html) (概要) 所定の期間在学して卒業要件に必要な単位を修得し、以下の能力を備えたと認められる者に学士号を授与する。専門職としての高い倫理観と知識・技能及びコミュニケーション力、地域や多職種と連携して課題解決を図る力、生涯を通じて学び続けキャリア形成を実践できる能力を身に付けていること。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/6,0,21,html) (概要) 教養と人間性を育む教養科目と健康科学の基礎的な考え方を培う科目を 3 学科共通科目として設けるとともに、地域の特性を理解して多職種連携を実践的に学修する科目、キャリア形成を目指す科目、新たな課題を探求する力を養う卒業研究を配置する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/6,0,21,html) (概要) 大学での学修に必要な基礎学力を有し、物事を論理的に分析・判断する力を持っていること。また、人と地域社会に貢献したいという意志を持ち、多様な考えや立場を理解して周囲の人々と良好な関係を構築し、主体的に学修に取り組む人材を求めている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法: https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/7,0,27,html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
健康科学部	—	27人	8人	16人	17人	—人	68人
その他	—	1人	—人	1人	1人	—人	3人
計	2人	28人	8人	17人	18人	—人	73人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			0人				0人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/6,0,65,html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
健康科学部	180人	191人	106.1%	720人	767人	106.5%	—人	—人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	180人	191人	106.1%	720人	767人	106.5%	—人	—人
(備考) 健康科学部には、健康保育学科、看護学科、地域福祉学科がある。2022（令和4）年度から1学部3学科の1～4年次生が全て在籍している。								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
健康科学部	175人 (100%)	10人 (5.7%)	161人 (92.0%)	4人 (2.3%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	175人 (100%)	10人 (5.7%)	161人 (92.0%)	4人 (2.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 病院・地方自治体等、助産学専攻科				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項については、シラバスに記載し、学生および社会に対してホームページ上で提示している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>大学の理念と設置目的、学部及び研究科の人材養成、教育研究上の目的に基づいて、大学学則第30条第2項による学部において学位を授与するために修得すべき内容を、学位授与方針として策定し、明示している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度 の採用 (任意記載 事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
健康科学部	健康保育学科	125単位	有・無	単位
	看護学科	看護師国家試験受験資格 125単位	有・無	単位
		保健師国家試験受験資格 142単位		
		訪問看護・地域看護コース 134単位		
		養護教諭養成課程 153単位		
地域福祉学科	124単位	有・無	単位	
公表方法：				
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/17,400,36,html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
健康科学部	健康保育学科	486,000 円	区域内 188,000 円 区域外 282,000 円	74,000 円	実習費 74,000 円
	看護学科	486,000 円	区域内 188,000 円 区域外 282,000 円	74,000 円	実習費 74,000 円
	地域福祉学科	486,000 円	区域内 188,000 円 区域外 282,000 円	74,000 円	実習費 74,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生の修学支援のため、本学独自の奨学金制度を設けているほか、万一に備え、学生教育研究災害傷害保険や学研災付帯賠償責任保険に加入している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア支援センターにおいて、就職に関する募集資料を自由に閲覧することができるのと同時に、インターネットで就職・進学情報を検索できるほか、履歴書やエントリーシートの書き方、挨拶の仕方についての各種講座を開催し、また、職場訪問の手順や、インターンシップについての相談に応じている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健管理センターを設置し、定期的に健康診断を実施するなど、健康面でのサポートを行っている。また、学外の精神科医が定期的に本学を訪問し、心のケアにもあたっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：新見公立大学年報を作成し、大学附属図書館で一般公開している。また、請求があれば同図書館で交付も行っている。
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	新見公立大学
設置者名	公立大学法人 新見公立大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		74人	70人	77人
内 訳	第Ⅰ区分	36人	32人	
	第Ⅱ区分	25人	23人	
	第Ⅲ区分	13人	15人	
家計急変による支援対象者（年間）				1人
合計（年間）				78人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。